

(教科書、ノート等学用品に関する持ち物の配慮について)

文部科学省と文京区教育委員会より「児童生徒の携行品に係る配慮について」の通達があり、本校では児童の携行品に関する検討を進めてきました。そこで、児童生徒の携行品の重さや量が、身体の健やかな発達に影響が生じかねないこと等の懸念があるという点を踏まえ、児童の携行品を次のように配慮いたします。

○毎日持ち帰る学用品等

連絡帳	連絡袋	筆記用具
宿題に関する教材	水筒	ランチョンマット
ハンカチ	ティッシュ	タブレット端末

※宿題に関する教材は、各学年の担任の指示に従ってください。

※この他、自分の持ち帰りたい教材に関しては持ち帰って構いません。

※毎週末には、体操着、上履き、白衣（当番の際）を持ち帰ります。

※学期末には、学校で保管している教材以外は、全て持ち帰ります。

※学年末には、全ての教材を持ち帰ります。

※重さ軽減のため水筒の代わりにペットボトルを持ってきていただいても構いません。ペットボトルを持ってくる際は、必ず記名をお願いします。

○その他の教材

その他の教材については、学校で保管をしたり、学校に置いていたりしてよいものとします。学校で保管する教材については、各担任から児童にお伝えいたします。

○タブレット端末の持参・持ち帰り方法について

- ① 登下校の際、タブレット端末はランドセル（背負いカバン）に入れるか、手提げ袋やタブレットケースに入れるようにしてください。
- ② ランドセル(背負いカバン)に入れる際は、そのまま入れていただいて結構です。ただし、水筒（またはペットボトル）を一緒に入れる際は、水がこぼれたり漏れたりしないよう必ず確認をお願いいたします。
- ③ 手提げ袋やタブレットケースは、ご家庭でご準備ください。

- ④ タブレット端末は、キーボード部分とタブレット部分に分けることが可能です。充電に必要なのはタブレット部分のみなので、キーボード部分は学校に置き、タブレット部分のみ持ち帰ることもできますので、ご家庭でお子様とお決めください。ただし、その場合は、液晶部分保護につきまして、ご家庭でご配慮ください。（区からのリース品なので、液晶保護シールは貼らないでください。）

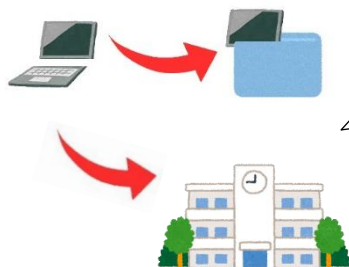
【持ち帰り方法】

- ・キーボードも持ち帰る場合…



そのままランドセル
(背負いかばん) へ

- ・キーボードを置いて帰る場合…



- ・ケースに入れる等、液晶部分を保護してランドセル(背負いかばん)へ。
- ・キーボードは学校保管です。

⑤ タブレット端末の大きさ

1～5年生：小さなタブレット端末
(縦21cm、横26cm、厚さ2.2cm)

※およその長さです。



- ⑥ タッチペン、マウスを使用したい場合は、ご家庭でご準備ください。学校への持ち込みも可です。タッチペン、マウスにはそれぞれ記名をお願いいたします。なお、動作確認はご家庭でお願いいたします。